

# 研究所だより

第280号  
2009年4月10日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

## 平成21年度スタート

従来の補導センターと教育研究所、適応指導教室が統括され教育センターとなり、新しい職員も加え平成21年度がスタートしました。

### 土佐清水市教育センター職員一覧

教育センター	所長	池田 等	主管全般
	所長補佐	山中 康喜	主管全般補佐
	研究所	楠瀬 純一 山崎 源生 北代 あかね	研究所主幹全般 教育相談・調査研究・情報教育 教育支援・調査研究・市教研
	適応指導教室	泥谷 人美	児童・生徒適応相談（あすなる教室）
	少年補導センター	坂井 孝吏	少年補導・健全育成

教育センターってどんな仕事しているの？

#### 【教育研究所】

- 1, 教育関係職員の研修に関すること
- 2, 教育相談に関すること
- 3, 教育に関する情報の収集、処理及び活用に関すること
- 4, 教育機器及び教材の調査並びにその活用に関すること

#### 【適応指導教室】

- 5, 不登校児童、生徒の健全な育成に関すること

#### 【補導センター】

- 6, 青少年の健全育成のための業務



↑  
教育センター内  
パソコンとにらめっこ

要は、教育全般に関わって、学校と先生と子どもと保護者のためにあるセンターです。特に、先生方には利用、活用して頂ければ幸いですし、出来る限りの協力と支援をさせていただきます。個人使用、私的使用も受付けます。遠慮なくどしどしお使いください。

4月3日、6日と2日間に渡り、市内小中学校に予告も無しでしたが挨拶回りに訪問させて頂きました。有り難うございました。

休み期間中でしたので、おいでにならない先生や入学式の準備中のおいそがしさの中にお伺い致しましたので全員の方にお会いすることが出来ませんでした。今年も宜しくお願い致します。

あすなる教室に通ってきていたS君。4月7日、S中学校の入学式に出ることが出来ました。指導員の泥谷先生には、『一学期はあすなる教室へはこんとS中学校へ行くで』と張りきって話していたようです。

当日、泥谷先生より入学式に参加するS君の姿を見たいので入学式に行ってきます、とのこと。

このあすなる教室に通ってくる子ども達、色々な荷を背負ってきています。家庭、友だち（人間関係）、学業不振、等々、それぞれ背負っている荷は別々ですが、ここへ来たときの表情はやっぱり子どもの表情です。黙って勉強している子、パソコンに向かって自分の仕事に専念している子、絵を描いたり漫画を読んだりそれぞれが自分のペースで仕事をしています。それに常時関わっているのが泥谷先生です。あれせよこれせよということではなく、子どもの主体性に任せ、暗黙の中にお互いの信頼関係を築いているのでしょう。子ども達も泥谷先生には自分の姿を見せているようです。

今、子ども達は新しい年度を迎えて『頑張るぞ』と前向きに心を躍らせていることでしょう。教師も子どももやる気に満ちあふれていると思います。だからこそ、S君のように前向きな姿勢が表れてくるのでしょうか。

不登校児童・生徒を出さないためにも、日々、子ども達と向き合い、子どもの居場所づくりに心がけ、子どもの存在価値を教師一人だけでなく学級のなかま全員が認めていく、そんな人間関係づくり、学級づくりをしたいものです。

S君があすなる教室から遠ざかってくれることが何よりですし、成長したS君があすなる教室を訪れてくれることが楽しみです。



## 第59次教育研修会

2009年度、第59次教育研修会の日程をお知らせ致します。予定の中に記しておいてください。

### 組織教研

4月22日（水） 清水小学校 15時～

### 1日教研

8月26日（水） 全体会 部会 9時～  
各部会場決定

### 半日教研

11月11日（水） 各部会場決定 13時30分～

### 総括教研

1月中に実施できるよう各部会場、日程を決めてください。早めに決めて頂ければ幸いです

**\*会が重なって現場に支障を来すことのないようにこちらの方で日程調整をすることがあると思いますがご容赦ください。**

